

継続事業評価シート

評価実施日 令和4年3月31日

令和3年度(5年目)

事業コード	52	事業名	事業承継実現化支援事業				戦略コード	1	戦略名	育て・挑戦を支える商工会			
担当部名	事業振興部		担当課名	経営支援課	担当課長名	佐藤大輔	施策コード	2	施策名	商工会ならではの事業承継の推進			

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

県内企業の経営者平均年齢は、今後10年で引退平均年齢の70歳を超えることが確実視されており、加えて商工会地区の商工業者アンケートでは、76%の企業が事業承継に対して何らかの課題を抱えているとの回答もあることから、早期に経営課題を解決し事業承継を実現していく必要がある。

2. 事業のねらい

承継計画の実態把握から優先度の明確化、具体的な支援策、支援手順を整理し、事業承継計画の実現化を促進する。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	－	H30	－	R1	－	R2	－
-----	-----	---	-----	---	----	---	----	---

今年度より実施

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

今年度より実施

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
122	事業承継計画のブラッシュアップ支援	「秋田県事業承継・引継ぎ支援センター」との連携より、緊急性の高い事業所の事業承継計画書をブラッシュアップする。	a	a	a	A

評価指標と実績 達成度： a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード						取組コード						取組コード					
指標名						指標名						指標名					
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標						目標						目標					
実績						実績						実績					
達成率						達成率						達成率					
達成度						達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性

【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)

a

〈評価の理由〉

事業承継の実現という課題に対して、より実現性の高い計画作成の継続的支援が必要であるため、事業承継計画のブラッシュアップは必要である。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況

【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)

a

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

事業承継の実現というねらいに対し、より具体的な計画書へとブラッシュアップが図られたことから、事業の有効性は高い。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況

【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)

a

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

「秋田県事業承継・引継ぎ支援センター」と連携を図ることで、専門家とのチーム支援による計画書のブラッシュアップが実現したことから、コストパフォーマンスに優れた事業である。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果が すべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合

A

「事業承継実現ガイドライン」の作成に向けて試験的に実施したブラッシュアップ支援であるが、事業承継実現までのより具体的な計画が策定されるなど極めて効果の高い取組となった。

3. 課題

実現度の高い事業承継計画へのブラッシュアップは非常に時間とコストを要することから、事業承継の実現までの道筋が分かるガイドラインの提供が急務である。

4. 今後の対応方針(改善点)

事業承継の実現を促進するため、事業承継計画の実態把握から優先度の明確化、具体的な支援策、支援手順をまとめた「事業承継実現ガイドライン」を作成する。